

コロナ禍における移住女性の困難と連帯の可能性 ～リプロダクティブ・ライツの視点から～

新型コロナウイルスのパンデミックが、多くの女性に深刻な影響を与えていることはこの間多くの人たちが指摘してきました。一方で、日本に暮らす外国人移住者、特に移住女性たちの抱える困難さについては、あまり目を向けられていません。熊本地裁で有罪判決が出てしまったベトナム人技能実習生レー・ティ・トゥイ・リンさんの孤立出産をめぐる問題は、移住女性たちの性・生殖の自己決定権がいかに奪われているかを明らかにしています。

アジア女性資料センターでは、今年「健康への権利とケアの平等」をテーマにより公正な社会のあり方をさまざまな視点で考えています。今回は、妊娠出産の問題に直面している外国人技能実習生の相談支援をしている巢内尚子さん、高山ユキさんをお招きし、具体的なケースを紹介いただき、移住者を含むすべての人たちのリプロダクティブ・ライツが実質的に保障されるために、どのような制度や支援が有効であるかを学びます。

日 時：2021年8月22日（日）19:00-21:00

スピーカー：巢内尚子さん（ラバル大学大学院博士後期課程／
東京学芸大学特任講師）

ゲスト：高山ユキさん（カトリック信者、労働組合やカトリック難民移住
移動者委員会 J-CaRM で通訳として活動中）

開催方法：オンライン（Zoom）開催のため、お好きな場所から参加できます。

参加費：①アジア女性資料センター会員・学生：800円
②一般：1,200円

申込方法：<https://jp.ajwrc.org/5590> または、以下のQRコードを読み取り、チケット購入をお願いします。ご購入後、参加のためのZoom URLを記載したファイルがダウンロードできますので、ご確認ください。お支払いがうまくできない場合など、事務局(ajwrc@ajwrc.org)までお問い合わせください。

主催：特定非営利活動法人アジア女性資料センター
(<http://www.ajwrc.org/>)

問い合わせ：なるべくメールでお問い合わせください。

メール：ajwrc@ajwrc.org 電話：03-3780-5245

